

城だより

第６９３号

日本古城友の会・会報　　令和８年（2026）９月１３日発行

丹波 須知城と上野城（北曲輪群・南曲輪群）を訪ねる（10 月・第 756 回例会）

日　　時：令和８年 10 月 18 日（日）貸切バス　雨天決行（行程変更あり）
集　　合：8 時 00 分　JR 環状線「森ノ宮駅」西側 森之宮神社前　時刻厳守
行　　程：森ノ宮駅前 ⇒名神高速・京都縦貫道 ⇒丹波 IC ⇒ 琴滝駐車場 ⇒ 須知城東曲輪群 ⇒須知城西曲輪群（昼食休憩）⇒ 琴滝駐車場 ⇒ バス⇒上野城南曲輪群 ⇒ バス ⇒ 上野城北曲輪群 ⇒ 京都縦貫道・名神高速 ⇒ 森ノ宮駅前（17:00 頃帰着を予定）
※雨天の場合は見学先を「山家陣屋」（綾部市）に変更します。その場合、森ノ宮駅前帰着は 15:00 頃の予定。但し、天気回復で甲ヶ峰城（詰の城）へも登城の場合は 16:30 頃の予定
※帰路は高速道路の渋滞が予想される為、森ノ宮駅前到着が予定より遅くなる場合があります。
担当幹事：岸本征剛・下岡 力
持 ち 物：弁当（事前に用意してください。）・飲物・敷物・帽子・ハイキング靴・手袋（軍手）・ステッキ・タオル・雨具を必ず持参してください。バス車内を含めマスク着用は各自の判断でお願いします。
参 加 費：２５人　５，１００円　２４人　５，３００円　２３人　５，５００円
２２人　５，８００円　２１人　６，１００円　２０人　６，４００円
１９人　６，７００円　１８人　７，０００円　１７人　７，４００円
１６人　７，８００円
（バス代・高速料金・資料代・保険代・記念写真代・下見費用として）
※参加の方は郵便振替口座 00960－9－13784　加入者名 平川大輔　通信欄に「10 月例会申込」と記載し、申込金 3,000 円を振り込んでください。（手数料自己負担）10 月 16 日以降の参加キャンセルにつきましては、申込金の返金を致しかねますので御了承ください。
問 合 せ：下岡 力
（開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。）

【今回の見どころ】　昨年は雨で行先変更なりましたので、再度挑戦です。

須知城・上野城とも須智氏の居城と考えられている。須智氏はその出自は定かでなく、一説には遠江国周知郷の出身で平安末期に丹波の船井郡に移住したとされるが、一次史料では確認できない。しかし、天正 7 年（1579）に明智光秀に滅ぼされるまでの間、中世を通じて丹波国船井郡を中心に国人領主として一定の勢力を誇っていた。


（須知城）
（作図：川端義憲氏）

須知城は京丹波町の市森集落の南の丘陵頂部の痩せ尾根にあり、尾根鞍部の二重堀切を挟んで東西に曲輪群を配置する。東曲輪群が土造りであるのに対し、西曲輪群は石積・石垣が施されている。特に西曲輪群の最高所である主郭の切岸には明智光秀が普請をしたと考えられる高石垣があり、一見の価値がある。



IV曲輪

のが絵図を見るとそうではないようなので、このYの字くぼみは何なのか想像つかない。草などに覆われて、I曲輪の端は地面観察がよくできない。Yの字のくぼみ横にもくぼみがある。どういった用途であったのかよくわからない。くぼみの西側には台に置かれていた城山八幡社が祀られていた。次にII曲輪からIII曲輪に向かう。II曲輪とIII曲輪の間に草木で覆われたトンネルのような土橋があり両側は空堀になっている。空堀の深さも5m以上ありそうだ。草木が多かったので堀底には降りなかった。III曲輪はすこし狭い。樹木のあるところは土塁または櫓台があるようだ。細い道を少し下るとIV曲輪があり民家も見える。ここは広い。2026年3月28日にNHKで「ブラタモリ」が放映されたが一行が最初に大高城に足を踏み入れた場所はここからである。(※3) 大高城は駅から近いし、比高も低いし縄張りがしっかりしていて、見学に適した城址であった。

(注記)

※1：NHK　BS　「英雄たちの選択～ここまでわかった！若き信長の「桶狭間の戦い」2025年11月3日放送分（2026年3月4日再放送）

※2：図2は「戦国時代を変えた合戦と城」著　千田嘉博、平山　優　朝日新書　2024年10月より転載一部加筆

※3：NHK ブラタモリ「桶狭間の戦い・信長の危機▼戦国史上最大の逆転劇！その謎に迫る」2026年3月14日放送分

※4：図1、図3～7は「埋蔵文化財調査報告書100 国史跡大高城附丸根砦跡鷲津砦跡　2024　名古屋市教育委員会」より転載、1部加筆

日本古城友の会

会　長　中西　徹

事務局　事務局長　平川大輔

ＨＰアドレス https://www.kojyo-tomonokai.com/

編集・発行　編集部長　下岡　力